



国際教育の グローバル ネットワーク

JAFSAは教育の未来へ向かって進みます

JAFSA (国際教育交流協議会)

JAFSA
Japan Network for International Education

ご支援、ご参加 お待ちしております

JAFSAの活動は、国際交流に直接携わる大学関係者のみならず、各種教育機関、企業などの皆様のメンバーシップによって成り立っています。多くの皆様のご賛同やメンバーのご助言、ご協力が、さらなる国際教育交流の発展につながっていきます。

そのためには財政面はもちろんのこと、ボランティアなどの支援が必要です。メンバーの皆様とともに前進する組織JAFSAへご支援、ご参加をお待ちしております。

会員および会費 _____ Membership

● 団体正会員

本会の目的に賛同する教育機関・団体
(原則として、大学・高校などの学校法人・教育機関・非営利団体)

年会費 100,000円

● 賛助会員

本会の目的に賛同し、賛助するために入会した団体、企業、または個人

賛助金 年額100,000円以上

● 個人会員

本会の目的に賛同し、積極的に本会の事業に参加あるいは支援する意思のある個人

年会費 8,000円

特定非営利活動法人

JAFSA (国際教育交流協議会)

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町538 平成ビル5F

TEL:03-5155-3780 FAX:03-5155-3786

E-mail:info@jafsa.org <http://www.jafsa.org/>

ジャフサ JAFSA (Japan Network for International Education) とは?

About JAFSA

JAFSAとは? 国際教育交流のプロフェッショナル養成集団!

日本は少子化・高齢化に突入、将来の経済の担い手としての留学生に期待をかけ、受入数は2009年に13万人を突破しました。また、大学生の海外派遣や学内の国際化を積極的に進めています。しかし、国際交流部門に十分な資金や人材が確保されているとは言えず、取り巻く環境は決して平坦ではありません。そのような状況で、JAFSAは40年以上、担当者への研修実施、情報交換の場の提供、調査研究支援等、日本の国際教育交流の「プロフェッショナル」養成に大きく寄与してきました。

メンバーシップ! メンバーの参加が活発

JAFSAの構成はどうなっているのでしょうか? 国際教育交流分野に携わる団体(大学等教育機関)はもとより、企業や個人のメンバーによって成り立っており、また支えられています。メンバーの力が多様で大きいからこそ、活動が創造的になるのです。



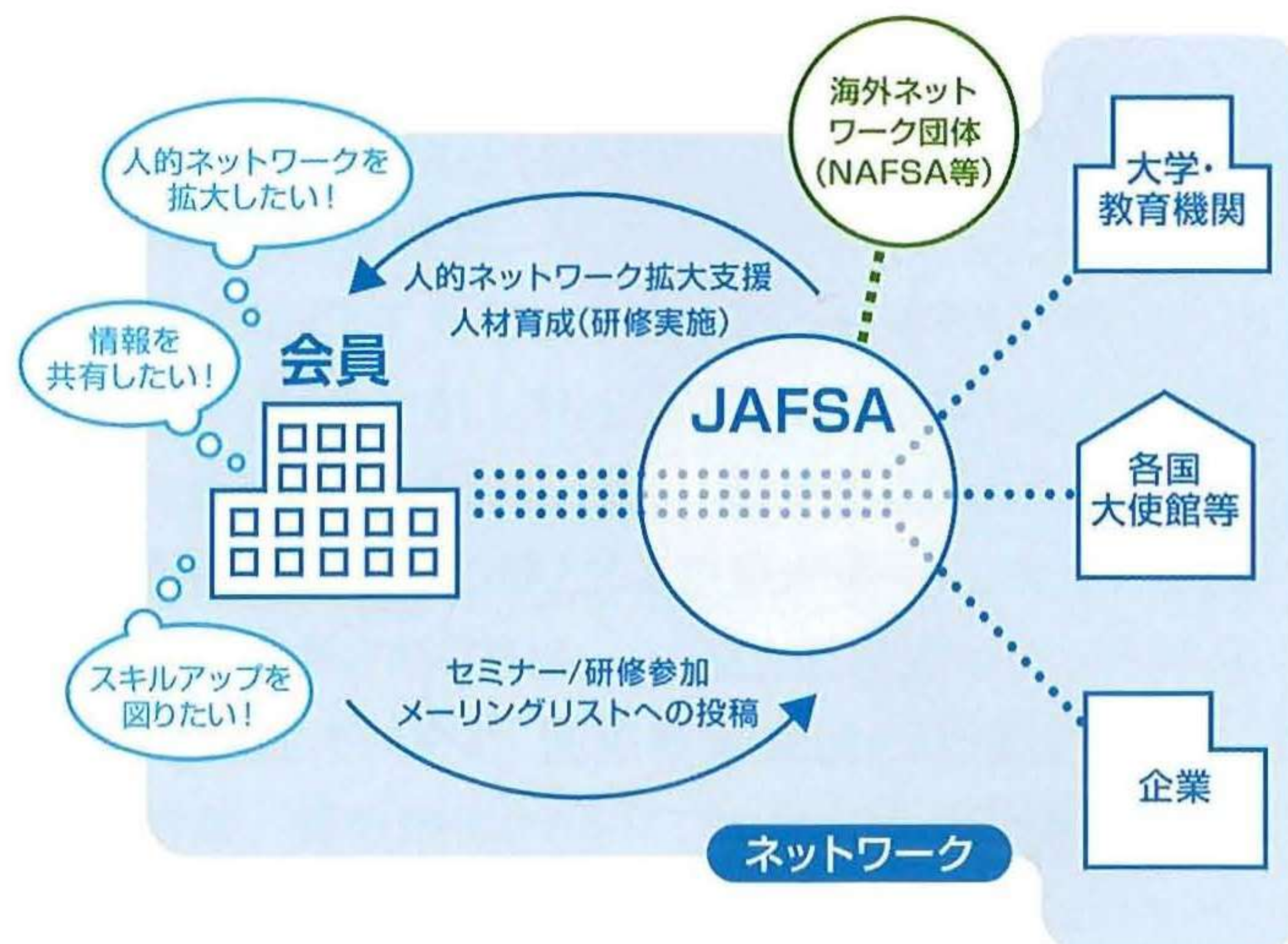
初任者研修 -国際教育交流概論-

『産学官グローバル人材育成委員会』報告会

日本唯一! 国際教育交流ネットワークの強み

国際教育交流は専門性が高く求められる分野です。一機関によるエキスパートの育成や問題解決は容易ではありません。JAFSAのネットワークには、国公私立大学・教育機関・大使館・教職員・民間企業など既存の枠を超えた交流があります。そこで、ノウハウや情報の共有、問題の相談対応や意見交換が可能です。また、所属組織の現状を客観的に分析できます。さらに、現場の声をアドボカシーへ繋げられます。また地理的にも米国・欧州・中国・韓国・アジア・豪州などとの連携が取れています。

JAFSAは、280以上の団体メンバーで構成される、国際教育交流分野では民間非営利で日本唯一の団体です。



詳しくはこちらをご覧ください: <http://www.jafsa.org/>

こんなことをしていますActivities

JAFSAでは、以下のようなさまざまな活動をしています。

I. ネットワークの充実

●全体セミナー

毎年開催し、テーマに沿った講演やワークショップを実施しています。約100名の参加者が活発な議論・情報交換の機会として活用しています。

●海外諸団体との交流

多くのメンバーが参加しているNAFSA等の年次大会ではブースの取りまとめ、JAFSAセッション開催、他にも海外で共同セミナーや情報交換会等を実施しています。

<海外同種団体>

NAFSA、AIEA（米国）

EAIE（欧州）

KAFSA、KAIE（韓国）

APAIE（アジア）

ISANA（豪州）

CAFSA（中国）等



2010年NAFSA年次大会でのJAFSAブース

●国内諸団体との事業連携

（財）日本語教育振興協会等の各種団体との連携強化を図るとともに、「中国学位・学歴認証システム」のような事業を共同展開しています。

II. 人材育成（研修）

●研修

教育機関で国際交流に携わる方を対象に、研修プログラムを提供しています。単なる情報・知識の収集だけで

なく、他大学の担当者との人脈形成や情報交換ができる場としてもご好評いただいています。

- ・初任者向け等各研修プログラム
- ・英語ビジネス対応カススキルアップ研修（ブリティッシュ・カウンシル共催）



英語ビジネス対応カススキルアップ研修

●JAFSA／他団体共催セミナー

変化する時代のニーズに対応したテーマを基に、各地で開催しています。

- ・入国管理局講習会
- ・地域住民が支える国際交流 等

●調査・研究の助成やテーマ別研究グループ活動

国際教育交流の諸問題を明らかにし、その発展に寄与するため、JAFSAでは調査研究活動を実施しています。メンバーによる特定分野の追求を目的としたグループ活動（Special Interest Group=SIG）も支援しています。

III. 広報

『留学生担当者の手引き』等の実務書の出版をはじめ、情報の提供・普及・啓発を行っています。また、ウェブサイト・メーリングリストを積極的に活用し、諸活動や賛助会員からの有益な情報などを会員の皆様にタイムリーにお知らせするとともに、会員間での情報交換の場を提供しています。

JAFSAのこれから

Future

世界は日々めまぐるしく変化し、グローバル化はますます進んでいます。政治や経済だけにとどまらず、教育も例外ではありません。大学は今や日本のマーケットだけではなく、世界を相手に競争しなくてはならない時代にきました。

日本に来る留学生数は今や13万人を超え、次は30万人が目標となっています。また、日本から世界へと飛び立っていく人材も増えています。JAFSAが設立された1968年とは取り巻く環境が全く違っています。

そのような中で、JAFSAも次への飛翔を遂げていかなければならない時期を迎えました。メンバーシップも現在は大学だけに留まりません。高校などの中等教育機関、在日外国公館、種々の教育機関、留学エージェント、企業、そして日本だけでなく海外の大学・教育機関など、ジャンルを超えてネットワークを結んでいかなければならないのです。

2010年9月末現在、JAFSAのメンバーシップは約250の大学と教育機関、40の企業やエージェント、300名の個人によって支えられています。日本には780近くの大学がありますが、さらに国際化を重視する大学の加入を促進していきます。また、留学生の採用に関わって国際的な人材を必要とする企業が増えている事情に鑑み、経済界とのコラボレーションの重要性をJAFSAは強く認識しています。国際教育交流の現場における人材育成、質の確保とともに、大学自体の国際戦略、日本の国際戦略、ひいては国際社会への貢献について、JAFSAは民間の立場から産学官協同で事業を進めていきたいと考えています。

JAFSAはNPO法人としての組織であるのみならず、一人一人が知恵と汗を出し合うボランティア精神を持ち合わせる団体でもあります。変えていきたいと思う気持ち、少しでもボランティアに行動する個々がなければ、前には進みません。JAFSAは1968年の設立以来、その精神を40年間以上脈々と培ってきました。2018年の設立50周年に向けて、今後も皆様のご支援をお願いいたします。

